

2021.5.6 ①【角川俳句賞2021 プランB 全16句】 選10句

レールから三尺離れ蒲公英黄

きのふ着しものを洗うて朝桜  
の洗濯ふす

消毒の涼しき別れ脱脂綿

中古車は新車になれず花は葉に

めそめそと我に垂れ込む梅雨の空  
をや浮し

R 日盛に生者集り嘆くなり

赤の他人青の他人や夜店の灯

時計屋の金魚真つ赤に育ちけり

新豆腐賽の目に目のなけれども

垂直に立てる線香墓参

2021.5.7 (2) 【角川俳句賞2021 プランB 全27句】 選9句

レールから三尺離れ蒲公英黄

消毒の涼しき別れ脱脂綿

~~め~~めそと垂れ込む空や梅雨深し

めめそと月の衰へ梅雨深し

~~鱗粉~~と鱗粉まじる捕虫網

腸の運ばれて行く蟻の列

時計屋の金魚真つ赤に育ちけり

冠に二つ火の点く螢の字

垂直に立てる線香墓参

すいり台に支柱  
の支柱は後た  
ちりけり

花吹雪

箱の台は針めにまわて

申花吹雪

火の音夜明け  
墨の聲か左

2021・5・16 【角川俳句賞2021 プランB 全108句】 選16<sup>2</sup> 3段組14ポ

成田フライトインフォメーション地虫出づ

蟬いでて決死の穴の残りけり

花の雨甲斐甲斐しきは妹よ

垂直に立てる線香墓参

点Pとなつて自在につばくらめ

清流に小枝投げ捨て初紅葉

レールから三尺離れ蒲公英

汗かいてゐる鯛焼の哀れかな

菜の花や明日ある如く咲き続く

消毒の涼しき別れ脱脂綿

めそめそと月の衰へ梅雨深し

地球儀は西日の部屋に孤独なり

時もまた滴一滴と滴るよ

扁平な匙でアイスを削るなり

時計屋の金魚真つ赤に育ちけり

冠に二つ火の点く螢の字

4

2021・5・16 【角川俳句賞2021 プランB 全122句】 選16句

成田フライトインフォメーション地虫出づ 朝まだき蟬の決死の穴の数 3段組14ポ 2021年5月16日 22:45 へ1 へ9

花の雨甲斐甲斐しきは妹よ 垂直に立てる線香墓参

点Pとなつて自在につばくらめ 清流に小枝投げ打つ初紅葉

線路から三尺離れ蒲公英黄 汗かいてゐる鯛焼の哀れかな

菜の花や明日ある如く咲き続く

消毒の涼しき別れ脱脂綿

雨の字の中も雨ふる梅雨湿り

めそめそと月の衰へ梅雨深し

地球儀は西日の部屋に孤独なり

時もまた滴一滴と滴るよ

扁平な匙でアイスを削るなり

時計屋に時がたつぷり金魚玉

成田フライトインフォメーション地虫出づ 扁平な匙でアイスを削るなり

花の雨甲斐甲斐しきは妹よ 職業は寺山修司夜店の灯

~~点P~~となつて自在につばくらめ ~~△~~赤の他人青の他人や夜店の灯

線路から三尺離れ蒲公英黄 ~~自転車~~の全速力の夏休

菜の花や明日ある如く咲き続く シヤワー浴ぶ排水孔の花模様

腐るより他に手のなき暑さかな 時計屋に時がたつぷり金魚玉

消毒の涼しき別れ脱脂綿 朝まだき蟬の決死の穴の敷

公園に木の椅子乾く薄暑かな 垂直に立てる線香墓参

雨の字の中も雨ふる梅雨湿り 清流に小枝投げ打つ初紅葉

めそめそと月の衰へ梅雨深し 汗かいてゐる鯛焼の哀れかな

地球儀は西日の部屋に孤独なり

時もまた滴一滴と滴るよ

ニッポポ 5.18

エモベ 5.18

5.19

カキコキ 5.18

雨の針

いく

6

2021・5・19 【角川俳句賞2021 プランB 全139句】 選22句 3段組14ポ 2021年5月19日 15:44 へ1 桐9

成田フライトインフオメーション地虫出づ

扁平な匙でアイスを削るなり

~~花の雨甲斐甲斐しきは妹よ~~

職業は寺山修司夜店の灯

点Pとなつて自在につばくらめ

赤の他人青の他人や夜店の灯

線路から三尺離れ蒲公英黄

シャワー浴ぶ排水孔の花模様

菜の花や明日ある如く咲き続く

~~時計屋に時がたつぷり金魚玉~~

腐るより他に手のなき暑さかな

時計屋に千の秒針金魚玉

消毒の涼しき別れ脱脂綿

朝まだき蟬の決死の穴の数

公園に木の椅子乾く薄暑かな

垂直に立てる線香秋彼岸

雨の字の中も雨ふる梅雨湿り

清流に小枝投げ打つ紅葉かな

めそめそと月の衰へ梅雨深し

汗かいてゐる鯛焼の哀れかな

地球儀が西日の部屋にふたつある

時もまた滴一滴と滴るよ

~~アイスクリーム  
寺山のサシ虫  
扁平な~~ 20

又

2021・5・20 【角川俳句賞2021 プランB 全157句】

選25句 3段組14ポ 2021年5月20日 16:45 1桐9

成田フライントインフォメーション地虫出づ

R 点Pとなつて自在につばくらめ

線路から三尺離れ蒲公英黄

菜の花や明日ある如く咲き続く

公園に木の椅子乾く薄暑かな

雨の字の中も雨ふる梅雨湿り

めそめそと月の衰へ梅雨深し

梅雨の夜の甲斐甲斐しきは妹よ

朝まだき蟬の決死の穴の数

腐るより他に手のなき暑さかな

蟻の巣に輪廻のかけら貯へて

向日葵をボールのやうなもので打つ

向日葵軍団自壊の兆しあり

シャワー浴ぶ排水孔の花模様

アイスクリーム専用の匙扁平な

時もまた滴一滴と滴るよ

時計屋に千の秒針金魚玉

消毒の涼しき別れ脱脂綿

地球儀が西日の部屋にふたつある

職業は寺山修司夜店の灯

赤の他人青の他人や夜店の灯

交番に夜の向日葵を論すなり

垂直に立てる線香秋彼岸

清流に小枝投げ打つ紅葉かな

汗かいてゐる鯛焼の哀れかな

白伝するれしもなくして

蓮の花は

に自然の心

シャワーの水の流れる

止るまでたんと廻る

シャワーの粒を

金魚に

船の如く

着る

風平

早

手紙のまふして  
三つ大付  
朝の光

腐りつつ  
星とかな

明るく  
その

清流も  
紅葉も

早  
夏休

風平  
夏休

着る

船の如く

止るまで

シャワーの水

蓮の花

鯛焼

金魚

シャワー





2021・5・23 【角川俳句賞2021 プランB 全242句】

選35 3段組14ポ 2021年5月23日 19:29 へ1 桐9

永き日の長き糸ひくテイーバッグ

腐りつつものの融けゆく暑さかな

消毒や日焼の腕の脱脂綿

成田フライトインフォメーション地虫出づ

炎天をのらりくらりと松が伸び

監獄を襲ひし日なり巴里祭

菜の花や明日ある如く咲き続く

神木を地下水上げる大暑かな

向日葵をバールのやうなもので打つ

雀らに薄暑の町の午前の日

高さうで地味な和服の涼しさよ

蓮の花に自壊の兆なかりけり

公園に木の椅子乾く薄暑かな

きゆつきゆつとシャワー限界まで開けて

地球儀と西日の部屋の全てかな

雨の字の中も土砂降り梅雨湿り

強き子はシャワーの水を跳ね返し

職業は寺山修司夜店の灯籠

めそめそと月の衰へ梅雨深し

黒揚羽こそ初蝶と言ふべかり

交番に夜の向日葵を諭すなり

梅雨晴間小学校の乾くなり

蟻の巣に輪廻のかけら貯へて

弟を泣かせて蚊帳を独り占め

早起の楽しみ幾つ夏休

削られてアイス涼しく曲りけり

清流に小枝投げ打つ紅葉かな

明け方や決死の蟬が穴を出づ

お多福のスプーンで食ふアイスかな

山々が見えて盆地の空つ風

アスファルトもコンクリートもみな暑し

時もまた滴一滴と滴るよ

汗かいてゐる鯛焼の哀れかな

天国を歩行者あるく暑さかな

秒針は働き盛り金魚玉

Handwritten notes in red ink: 夜明け(ヤ) 夕暮(ゆ) 5.24 半暮(はん) 木暮(も) 夕暮(ゆ) 山(やま) 矢(や) 清(きよ) 流(りゅう) 盆(ぼん) 地(ち) 空(くう) つ(つ) 風(かぜ) マニエーの(まにえーの) 虎(こ) の(の) 蚊(ご) 帳(ぢょう) を(を) 独(ひとり) り(り) 占(を) め(め) 手(て) と(と) 燈(とう)籠(ろう) 子(こ) 燈(とう)籠(ろう) 子(こ)

永き日の長き糸ひくティーバッグ

高さうで地味な和服の涼しさよ

交番に夜の向日葵を論すなり

成田フライトインフォメーション地虫出づ

涼しさや昼寝の蚊帳の薄暗き

アラジンの魔法の蚊遣豚けむた

菜の花や明日ある如く咲き続~~く~~

きゆつきゆつとシャワー限界まで開ける

見てをれば少し進みぬ蚊遣の火

雀ほか薄暑の~~町~~の朝を飛ぶ

強き子はシャワーの水を跳ね返し

蚊を殺すひと夜の命蚊遣の火

風もよし薄暑の雲も親子連れ

初蝶と言はねど黒の揚羽蝶

ぽとぽとと蚊を殺めゆく蚊遣かな

公園に木の椅子乾く薄暑かな

蟻の巣に輪廻のかけら貯へて

蚊の怨みゆらりと蚊火の煙かな

雨の字の中も土砂降り梅雨つづく

削られてアイス涼しく曲りけり

蚊を殺し飽きたる煙明易し

めそめそと月の衰へ梅雨深し

お多福のスプーンで食ふアイスかな

山奥に清流あるる紅葉かな

梅雨晴間小学校の乾くなり

ラーメンの客も混りて掻き氷

山々がはつきり見えて空つ風

早起の楽しみ幾つ夏休

時もまた滴一滴と滴るよ

汗かいてゐる鯛焼の哀れかな

夜明けなり決死の蟬が穴を出づ

秒針は働き盛り金魚玉

蚊火極やうりと

アスファルトもコンクリートも大暑かな

消毒や日焼の腕の脱脂綿

こもみすくみぬ

天国を歩行者あるく暑さかな

監獄を襲ひし日なり巴里祭

蚊火極やうりと

腐りつつものの融けゆく暑さかな

向日葵とバールのやうなものとかな

蚊火極やうりと

炎天をのらりくらりと松が伸び

蓮の花に自壊の兆なかりけり

蚊火極やうりと

神木を地下水上げる大暑かな

地球儀と西日の部屋の全てかな

蚊火極やうりと

先生の額の汗を見しことも

職業は寺山修司夜店の灯

蚊火極やうりと

時侯?  
蚊火極やうりと  
こもみすくみぬ  
蚊火極やうりと

2021.5.24 角川俳句賞2021

プランB 全309句 選43句

行3段組14条 2021年5月24日 21:51へ1 桐9

永き日の長き糸ひくティーバッグ

成田フライトインフォメーション地虫出づ

菜の花や明日ある如く咲き続く

雀ほか薄暑の町の朝を飛ぶ

風もよし薄暑の雲も親子連れ

公園に木の椅子乾く薄暑かな

雨の字の中も土砂降り梅雨つづく

めそめそと月の衰へ梅雨深し

梅雨晴間小学校の乾くなり

早起の楽しみ幾つ夏休

夜明けなり決死の蟬が穴を出づ

神木を地下水上る大暑かな

アスファルトもコンクリートも木書かな

炎天をのらりくらりと松が伸び

腐りつつものの融けゆく暑さかな

先生の額の汗を見しことも

高さうで地味な和服の涼しさよ

涼しさや昼寝の蚊帳の薄暗き

時もまた滴一滴と滴るよ

消毒や日焼の腕の脱脂綿

監獄を襲ひし日なり巴里祭

きゅつきゅつとシャワー限界まで開ける

弱虫もシャワーの水を跳ね返す

削られてアイス涼しく曲りけり

お多福のスプーンで食ふアイスかな

ラーメンの客も混りぬ掻き氷

初蝶と言はねど黒の揚羽蝶

蟻の巣に輪廻のかけら貯へて

秒針は働き盛り金魚玉

向日葵とバールのやうなものかな

蓮の花に自壊の兆なかりけり

地球儀と西日の部屋の全てかな

職業は寺山修司夜店の灯

交番に夜の向日葵を論すなり

アラジンの魔法の蚊遣豚けむた

見てをれば少し進みぬ蚊遣の火

蚊を殺すひと夜の命赤々と

ぽたぽたと蚊を殺めゆく蚊遣かな

蚊のうらみつらみにも見ゆ蚊火煙

蚊を殺し飽きたる煙明易し

山奥の清き流れの紅葉かな

山々のはつきり見ゆる空つ風

汗かいてゐる鯛焼の哀れかな

蚊を殺すひと夜の命赤々と  
ぽたぽたと蚊を殺めゆく蚊遣かな  
蚊のうらみつらみにも見ゆ蚊火煙  
蚊を殺し飽きたる煙明易し

アスファルトもコンクリートも木書かな  
蓮の花に自壊の兆なかりけり  
地球儀と西日の部屋の全てかな  
職業は寺山修司夜店の灯  
交番に夜の向日葵を論すなり

地下水と木の根のつれづれ  
木の根が枯れて  
のびる  
日の空

11  
地下に  
吸子木の根  
のびる

2021.5.25【角川俳句賞2021プランB 全322句】選38句

行3段組14ポ 2021年5月25日 13:10 桐9

永き日の長き糸ひくティーバッグ

きゅつきゅつとシャワー限界まで開ける

蚊を殺し尽せし煙明易し

成田フライトインフォメーション地虫出づ

弱虫もシャワーの水を跳ね返す

山奥の清き流れの紅葉かな

菜の花や明日ある如く咲き続く

削られてアイス涼しく曲りけり

山々のはつきり見ゆる空つ風

すでに子ら汗をいとはぬ五月かな

お多福のスプーンで食ふアイスかな

汗かいてゐる鯛焼の哀れかな

公園に木の椅子乾く薄暑かな

ラーメンの客も混りぬ掻き氷

梅雨晴間小学校の乾くなり

初蝶と言はねど黒の揚羽蝶

早起の楽しみ幾つ夏休

蟻の巣に輪廻のかけら貯へて

夜明けなり決死の蟬が穴を出づ

秒針は働き盛り金魚玉

日盛りの地下水を吸ふ木の根かな

向日葵とバールのやうなものとか

アスファルトもコンクリートも日の盛り

蓮の花に自壊の兆なかりけり

炎天をのらりくらりと松が伸び

地球儀と西日の部屋の全てかな

腐りつつものの融けゆく暑さかな

職業は寺山修司夜店の灯

先生の額の汗を見しことも

交番に夜の向日葵を論すなり

涼しさや昼寝の蚊帳の薄暗き

アラジンのこれは魔法の蚊遣豚

時もまた滴一滴と滴るよ

これもまたひと夜の命蚊遣の火

消毒や日焼の腕の脱脂綿

ぼたぼたと蚊を殺めゆく煙なり

監獄を襲ひし日なり巴里祭

蚊のうらみつらみにも見ゆ蚊火煙

命の危うさと落る

蚊を殺す

向日葵とバールのやうなものとか  
蓮の花に自壊の兆なかりけり  
地球儀と西日の部屋の全てかな  
職業は寺山修司夜店の灯  
交番に夜の向日葵を論すなり

2021.5.25 角川俳句賞2021 プランB 全360句 選38句

行3段組14ポ 2021年5月25日 17:54 桐9

永き日の長き糸ひくティーバッグ  
成田フライトインフォメーション地虫出づ

消毒や日焼の腕の脱脂綿  
監獄を襲ひし日なり巴里祭

蚊を殺し尽せし煙明易し  
山奥の清き流れの紅葉かな

すでに子ら汗をいとはぬ五月かな  
曇りにはあらねど雲や薄暑光

時計屋の千の秒針金魚玉  
きゆつきゆつとこれがシャワーの限界か

汗かいてゐる鯛焼の哀れかな  
山々のはつきり見ゆる空つ風

公園に木の椅子乾く薄暑かな  
梅雨晴間小学校の乾くなり

弱虫も泣虫も来よ西瓜切る  
削られてアイス涼しく曲りけり

6:30 pm 外灯点かず  
3/5 点灯  
6:40 pm 明るい

早起の楽しみ幾つ夏休  
夜明けなり決死の蟬が穴を出づ

お多福のスプーンで食ふアイスかな  
ライメンも焼そばもゐて掻き氷

4/6 6:43pm  
6:50 引き直し

日盛りの地下水を吸ふ木の根かな  
アスファルトもコンクリートも日盛り

初蝶と言はねど黒の揚羽蝶  
蟻の巣に輪廻のかげら貯へて

今外灯はなし  
蚊は点灯

炎天をのらりくらりと松が伸び  
腐りつつものの融けゆく暑さかな

蓮の花に自壊の兆なかりけり  
地球儀と西日の部屋の全てかな

先生の額の汗を見しことも  
書取の大きな枡の涼しさよ

職業は寺山修司夜店の灯  
交番に夜の向日葵を論すなり

今外灯はなし  
蚊は点灯

うすぐらき蚊帳の昼寝を好みけり  
時もまた滴一滴と滴るよ

これまたまたひと夜のいのち蚊遣たく  
命終のぼたりと落る蚊遣かな

蚊は点灯  
蚊は点灯

蚊の点灯

蚊は点灯  
蚊は点灯

14

2021.5.26 角川俳句賞2021 プランB 全366句 選39句

玄人の季語なし・季語の解説

永き日の長き糸ひくティーバッグ

命終のぼたりと落る蚊遣かな

成田フライトインフォメーション地虫出づ

消毒や日焼の腕の脱脂綿

菜の花や明日ある如く咲き続く

監獄を襲ひし日なり巴里祭

初夏やガードレールの緑色

時計屋の千の秒針金魚玉

すでに子ら汗をいとはぬ五月かな

きゆつきゆつとこれがシャワーの限界が

曇りにはあらねど雲や薄暑光

弱虫も泣虫も来よ西瓜切る

公園に木の椅子乾く薄暑かな

削られしアイス上手に曲りけり

梅雨晴間小学校の乾くなり

お多福のスプーンで食ふアイスかな

早起の楽しみ幾つ夏休

ラーメンも焼そばもゐて掻き氷

夜明けなり決死の蟬が穴を出づ

初蝶と言はねど黒の揚羽蝶

日盛りの地下水を吸ふ木の根かな

蓮の花に自壊の兆なかりけり

アスファルトもコンクリートも日の盛り

向日葵がボールのやうに首を曲げ

炎天をのらりくらりと松が伸び

蟻の巣に輪廻のかけら貯へて

腐りつつものの融けゆく暑さかな

地球儀と西日の部屋の全てかな

先生の額の汗を見しことも

職業は寺山修司夜店の灯

かきとりの大きな扇の涼しさよ

交番に夜の向日葵を論すなり

うすぐらき蚊帳の昼寝を好みけり

これもまたひと夜のいのち蚊遣たく

汗かいてゐる鯛焼の哀れかな

シャワーの粒の粒かたかな  
とまじりやけ

95人の+点

行3段組14ポ 2021年5月26日 05:56 桐9

2021.5.26 角川俳句賞2021 プランB 全393句 選42句

行3段組14ポ 2021年5月27日 00:12 へ1 桐9

永き日の長き糸ひくティーバッグ

成田フライトインフォメーション地虫出づ

菜の花や明日ある如く咲き続く

初夏のガードレールの緑色

すでに子ら汗をいとはぬ五月かな

曇りにはあらねど雲や薄暑光

公園に木の椅子乾く薄暑かな

あこのころの藤椅子に写る父と母

新緑を好む虫あり鹿も食ふ

新緑や白と黒なるチエスの駒

梅雨晴間小学校の乾くなり

早起の楽しみ幾つ夏休

夜明けなり決死の蟬が穴を出づ

日盛りの地下水を吸ふ木の根かな

アスファルトもコンクリートも日の盛り

炎天をのらりくらりと松が伸び

腐りつつものの融けゆく暑さかな

先生の額の汗を見しことも

かきとりの大きな柀の涼しさよ

うすぐらき蚊帳の昼寝を好みけり

時もまた滴一滴と滴るよ

消毒や日焼の腕の脱脂綿

監獄を襲ひし日なり巴里祭

きゅつきゅつとシャワーの栓を軋ませて

弱虫も泣虫も来よ西瓜切る

お多福型のスプーンで食ふアイスかな

削られしアイス上手に曲りけり

ラーメンも焼そばもゐて掻き氷

初蝶と言はねど黒の揚羽蝶

蓮の花に自壊の兆なかりけり

向日葵がボールのやうに首を曲げ

蟻の巣に輪廻のかけら貯へて

地球儀と西日の部屋の全部かな

職業は寺山修司夜店の灯

交番に夜の向日葵を論すなり

螢火と庭の盥の小舟かな

これもまたひと夜のいのち蚊遣たく

命終のぼたりと落る蚊遣の蚊

蚊を殺め尽せし煙明易し

山奥の清き流れの紅葉かな

山々のはつきり見ゆる空つ風

汗かいてゐる鯛焼の哀れかな

あつちてアリスをほくさび  
曲りけり  
上原  
落とした  
り、モーロ

黒い？  
まよにあふぬ  
もの、五分かや  
焼たかる  
一体化

日暮は苦葉のこに冷たけれ  
の、ゆたさよ  
目には返ける苦葉の色の目暮よ

奥式送り 30 50 50

つゆ 苦葉の向う

原色

2021・5・27【角川俳句賞2021プランB全407句】選44句

行3段組14ポ 2021年5月27日 13:53 へー桐9

地球儀と西日の部屋の全てかな 腐りつつものの融けゆく暑さかな 職業は寺山修司夜店の灯

永き日の長き糸ひくティーバッグ 皺腹を搔つ捌きなば涼しかろ 交番に夜の向日葵を論すなり

成田フライトインフォメーション地虫出づ かきとりの大きな柀の涼しさよ これもまたひと夜のいのち蚊遣たく

菜の花や明日ある如く咲き続く 抱きついて汗の笑顔を拭かんとす 命終のぼたりと落る蚊遣の蚊

初夏のガードレールの緑色 きゆつきゆつとシャワーの栓を軋ませて 蚊を殺め尽せし煙明易し

すでに子ら汗をいとはぬ五月かな うすぐらき蚊帳の昼寝を好みけり 山奥の清き流れの紅葉かな

公園に木の椅子乾く薄暑かな 時もまた滴一滴と滴るよ 山々のはつきり見ゆる空つ風

あこのころの籐椅子に写る父と母 消毒や日焼の腕の脱脂綿 汗かいてゐる鯛焼の哀れかな

新妻と行く新緑の旅衣 監獄を襲ひし日なり巴里祭 螢火と庭の盥に浮く小舟

新緑を好む虫あり鹿も食ふ 弱虫も泣虫も来よ西瓜切る 削られてアイス分厚く曲りけり

新緑や白と黒なるチェスの駒 お多福型のスプーンで食ふアイスかな ラーメンも焼そばもゐて搔き氷

梅雨晴間小学校の乾くなり 初蝶と言ふにあらねど黒揚羽 本当やものの五分で蟻たかる

早起の楽しみ幾つ夏休 夜明けなり決死の蟬が穴を出づ 蟻の巣に輪廻のかけら貯へて

日盛りの地下水を吸ふ木の根かな 蓮の花に自壊の兆なかりけり 向日葵がバールのやうに首を曲げ

アスファルトもコンクリートも日の盛り

炎天をのらりくらりと松が伸び



2021.5.27 角川俳句賞2021

プランB 全441句

選50句

行3段組14ポ 2021年5月27日 21:42へ1桐9

永き日の長き糸ひくティーバッグ

成田フライトインフォメーション地虫出づ

菜の花や明日ある如く咲き続く

初夏のガードレールの緑色

すでに子ら汗をいとはぬ五月かな

公園に木の椅子乾く薄暑かな

捨つるべきシャツを選ぶも薄暑かな

新妻わかし新緑の旅衣

新緑を好む虫あり鹿も食ふ

新緑や白と黒なるチエスの駒

青空も見えて若葉の雨宿り

梅雨空のグラデーシヨンの濃きところ

ばさばさと翼を畳む梅雨の傘

梅雨晴間小学校の乾くなり

早起の楽しみ幾つ夏休

夜明けなり決死の蟬が穴を出づ

日盛りの地下水を吸ふ木の根かな

アスファルトもコンクリートも日の盛り

炎天をのらりくらりと松が伸び

腐りつつものの融けゆく暑さかな

臆腹を搔つ捌きなば涼しかる

かきとりの大きな枡の涼しさよ

抱きついて汗の笑顔を拭かんとす

きゆつきゆつとシャワーの栓を軋ませて

うすぐらき蚊帳の昼寝を好みけり

あのころの籐椅子に写る父と母

時もまた滴一滴と滴るよ

消毒や日焼の腕の脱脂綿

監獄を襲ひし日なり巴里祭

弱虫も泣虫も来よ西瓜切る

お多福型のスプーンで食ふアイスかな

削られてアイス分厚く曲りけり

ラーメンも焼そばももて掻き氷

捕虫網幼き兄を先頭に

黒揚羽こそ初蝶と言ふべかり

本当やものの五分で蟻たかる

蟻の巢に輪廻のかけら貯へて

蓮の花に自壊の兆なかりけり

向日葵はもはやパールのやうなもの

地球儀と西日の部屋の全てかな

夕焼が地下へ沈んでゆくところ

職業は寺山修司夜店の灯

交番に夜の向日葵を論すなり

螢火や庭の盥の舟の上

これもまたひと夜のいのち蚊遣たく

命終のぼたりと落る蚊遣の蚊

蚊を殺め尽せし煙明易し

山奥の清き流れの紅葉かな

山々のはつきり見ゆる空つ風

汗かいてゐる鯛焼の哀れかな

おやま/ver 比

和方 45のく→返来→ 平日の苜蓿の竹の

出事22や

（V-カ）-ルース？

かたしむる成句字彙句

松あれば道はのほろ苜蓿先

アノエの山...まの松張

松張の工くれま... 蟻たかる・王

2021.5.28【角川俳句賞2021 プランB 全479句】 選50句

行3段組14ポ 2021年5月28日 19:27 へ1 桐9

永き日の長き糸ひくティーバッグ

炎天をのらりくらりと松が伸び

土塊を穴から運び出す蟻も

成田フライトインフォメーション地虫出づ

腐りつつものの融けゆく暑さかな

ほんまやなものの五分で蟻たかる

菜の花や明日ある如く咲き続く

皺腹を搔つ捌きなば涼しかる

蟻の巣に輪廻のかけら貯へて

初夏のガードレールの緑色

かきとり帳おほきな枡の涼しさよ

蓮の花に自壊の兆なかりけり

すでに子ら汗をいとはぬ五月かな

抱きついて汗の笑顔を拭かんとす

向日葵の既にボールのやうなもの

公園に木の椅子乾く薄暑かな

きゆつきゆつとシャワーの栓を出つ張らせ

地球儀と西日の部屋の全てかな

新妻の新緑の旅衣かな

うすぐらき蚊帳の昼寝を好みけり

夕焼が地下へ沈んでゆくところ

新緑や白と黒なるチェスの駒

あこのころの籐椅子に写る父母と我

職業は寺山修司夜店の灯

新緑を好む虫あり鹿も食ふ

時もまた滴一滴と滴るよ

交番に夜の向日葵を論すなり

青空も見えて若葉の雨宿り

消毒や日焼の腕の脱脂綿

螢火や庭の盥の小さき舟

梅雨空のグラデーシヨンの濃きところ

監獄を襲ひし日なり巴里祭

これもまた一夜の命蚊遣の火

ばさばさと翼を畳む梅雨の傘

弱虫も泣虫も来よ西瓜切る

命終のぼたりと落る蚊遣の蚊

梅雨晴天小学校の乾くなり

お多福型のスプーンで食ふアイスかな

蚊を殺し尽せし煙明易し

早起の楽しみ幾つ夏休

掬ひたるアイスクリーム毛羽立ちぬ

山奥の清き流れの紅葉かな

夜明けなり決死の蟬が穴を出づ

ラーメンも焼そばもゐて掻き氷

山々のはつきり見ゆる空つ風

日盛りの地下水を吸ふ木の根かな

捕虫網幼き兄を先頭に

汗かいてゐる鯛焼の哀れかな

アスファルトもコンクリートも日の盛り

公園に蟻の巣いくつ蟻いくつ

永き日の長き糸ひくティーバッグ

炎天をのらりくらりと松が伸び

土くれを穴から運び出す蟻も

成田フライトインフォメーション地虫出づ

腐りつつものの融けゆく暑さかな

ほんまやなものの五分で蟻たかる

菜の花や明日ある如く咲き続く

皺腹を搔つ捌きなば涼しかる

△蟻の巣に輪廻のかけら貯へて

初夏のガードレールの緑色

かきとり帳おほきな枡の涼しさよ

蓮の花に自壊の兆なかりけり

すでに子ら汗をいとはぬ五月かな

時もまた滴一滴と滴るよ

向日葵の既にパールのやうなもの

公園に木の椅子乾く薄暑かな

抱きついて汗の笑顔を拭かんとす

地球儀と西日の部屋の全てかな

新妻の新緑の旅衣かな

きゅつきゅつとシャワーの栓を出つ張らせ

夕焼が地下へ沈んでゆくところ

新緑や白と黒なるチエスの駒

あこのころの籐椅子に写る父母と我

職業は寺山修司夜店の灯

新緑を好む虫あり鹿も食ふ

うすぐらき蚊帳の昼寝を好みけり

交番に夜の向日葵を論すなり

青空も見えて若葉の雨宿り

監獄を襲ひし日なり巴里祭

螢火や庭の盥びの小さき舟

梅雨空のグラデーシヨンの濃きところ

消毒や日焼の腕の脱脂綿

△これもまた一夜の命蚊遣の火

ばさばさと翼を畳む梅雨の傘

弱虫も泣虫も来よ西瓜切る

命終のぼたりと落る蚊遣の蚊

梅雨晴間小学校の乾くなり

お多福型スプーンで食ふアイスかな

蚊を殺し尽せし煙明易し

早起の楽ハヤしみハヤ幾ハヤつ夏休

掬ひたるアイスクリーム毛羽立ちぬ

山奥の清き流れの紅葉かな

夜明けなり決死の蟬が穴を出づ

ラーメンも焼そばもゐて掻き氷

山々のはつきり見ゆる空つ風

日盛りの地下水を吸ふ木の根かな

捕虫網幼き兄を先頭に

汗かいてゐる鯛焼の哀れかな

アスファルトもコンクリートも日の盛り

公園に蟻の巣いくつ蟻いくつ



2021.5.29 角川俳句賞2021

プランB 全522句

選49句

行3段組14ボ 2021年5月29日 17:57へ1桐9

働いて働き蟻を全うす

アスファルトもコンクリートも日の盛り

土くれを穴から運び出す蟻も

永き日の長き糸ひくティーバッグ

炎天をのらりくらりと松が伸び

ほんまやなもの五分で蟻たかる

成田フライトインフォメーション地虫出づ

腐りつつものの融けゆく暑さかな

蓮の花に自壊の兆なかりけり

菜の花や明日ある如く咲き続く

皺腹を搔つ捌きなば涼しかる

向日葵の既にバールのやうなもの

初夏のガードレールの緑色

時もまた滴一滴と滴るよ

地球儀と西日の部屋の全てかな

すでに子ら汗をいとはぬ五月かな

抱きついて汗の笑顔をこすりつけ

夕焼が地下へ沈んでゆくとこ

公園に木の椅子乾く薄暑かな

あこのころの籐椅子に写る父母と我

職業は寺山修司夜店の灯

新妻の新緑の旅衣かな

うすぐらき蚊帳の昼寝を好みけり

交番に夜の向日葵を諭すなり

新緑や白と黒なるチエスの駒

監獄を襲ひし日なり巴里祭

螢火や庭に埋めし宝物

新緑を虫が好めり鹿も食ふ

消毒や日焼の腕の脱脂綿

命終のぼたりと落る蚊遣の蚊

青空も見えて若葉の雨宿り

弱虫も泣虫も来よ西瓜切る

蚊を殺し尽せし煙明易し

梅雨空のグラデーションの濃きところ

お多福型スプーンで食ふアイスかな

山奥の清き流れの紅葉かな

横にしてバサバサ畳む梅雨の傘

掬ひたるアイスクリーム毛羽立ちぬ

山々のはつきり見ゆる空つ風

早起にあれもこれもと夏休

焼そばの人と相席掻き氷

汗かいてある鯛焼の哀れかな

夜明けなり決死の蟬が穴を出づ

捕虫網幼き兄を先頭に

日盛りの地下水を吸ふ木の根かな

公園に蟻の巣あまた蟻あまた

花にほろ酔いながら  
梅雨の日は

梅雨

をめぐりかし  
もとけ  
あつたかな

ふるさとのとろろ汁  
金太郎

2021.5.30【角川俳句賞2021 プランB 全555句】 選51句

行3段組14ポ 2021年5月30日 11:46 へ1 桐9

汗の笑顔 純白す

永き日の長き糸ひくティーバッグ

炎天をのらりくらりと松が伸び

土くれを穴から運び出す蟻も

成田フライトインフォメーション地虫出づ

腐りつつものの融けゆく暑さかな

蚊を殺し尽せし煙明易し

菜の花や明日ある如く咲き続く

皺腹を搔つ捌きなば涼しかる

働いて働き蟻を全うす

初夏のガードレールの緑色

時もまた滴一滴と滴るよ

ほんまやなものの五分で蟻たかる

すでに子ら汗をいとはぬ五月かな

抱きついて汗の笑顔をこすりつけ

蓮の花に自壊の兆なかりけり

公園に木の椅子乾く薄暑かな

きゅつきゅつとシャワーはいつも全開に

向日葵にこれはパールのやうなもの

新妻の新緑の旅衣かな

あのころの籐椅子と写る母者こそ

地球儀と西日の部屋の全てかな

新緑や白と黒なるチェスの駒

うすぐらき蚊帳の昼寝を好みけり

夕焼が地下へ沈んでゆくとこ

新緑を虫が好めり鹿も食ふ

監獄を襲ひし日なり巴里祭

職業は寺山修司夜店の灯

青空も見えて若葉の雨宿り

消毒や日焼の腕の脱脂綿

交番に夜の向日葵を諭すなり

梅雨空のグラデーシヨンの濃きところ

弱虫も泣虫も来よ西瓜切る

螢火や庭に埋めし宝物

横にして傘をバサバサ梅雨の日々

お多福型スプーンで食ふアイスかな

命終のぼたりと落る蚊遣の蚊

梅雨明けの小学校が乾くなり

掬ひたるアイスクリーム毛羽立ちぬ

これもまた一夜の命蚊遣の火

早起にあれもこれもと夏休

舐めて解かし暑さにも解け氷菓なり

山奥の清き流れの紅葉かな

夜明けなり決死の蟬が穴を出づ

焼そばの人と相席掻き氷

山々のはつきり見ゆる空つ風

日盛りの地下水を吸ふ木の根かな

捕虫網幼き兄を先頭に

汗かいてゐる鯛焼の哀れかな

アスファルトもコンクリートも日の盛り

~~公園に~~蟻の巣あまた蟻あまた

埋火のありし空間純白す

春昼や糸の尾ながきティーバッグ

炎天をのらりくらりと松が伸び

蚊を殺し尽せし煙明易し

成田フライトインフォメーション地虫出づ

腐りつつものの融けゆく暑さかな

働いて働き蟻を全うす

菜の花や明日ある如く咲き続く

皺腹を搔つ捌きなば涼しかる

ほんまやなものの五分で蟻たかる

初夏のガードレールの緑色

時もまた滴一滴と滴るよ

蓮の花に自壊の兆なかりけり

すでに子ら汗をいとはぬ五月かな

抱きついて汗の笑顔をこすりつけ

向日葵にこれはボールのやうなもの

公園に木の椅子乾く薄暑かな

きゆつきゆつとシャワーはいつも全開に

地球儀と西日の部屋の全てかな

新妻の新緑の旅衣かな

~~あ~~の~~こ~~ろ~~の~~籐椅子と~~写~~る~~母~~者~~こ~~そ~~そ~~

夕焼が地下へ沈んでゆくとこ

新緑や白と黒なるチエスの駒

うすぐらき蚊帳の昼寝を好みけり

職業は寺山修司夜店の灯

新緑を虫が好めり鹿も食ふ

監獄を襲ひし日なり巴里祭

交番に夜の向日葵を論すなり

青空も見えて若葉の雨宿り

消毒や日焼の腕の脱脂綿

螢火や庭に埋めし宝物

梅雨空のグラデーシヨンの濃きところ

弱虫も泣虫も来よ西瓜切る

命終のぼたりと落る蚊遣の蚊

横にして傘をバサバサ梅雨の日々

お多福型スプーンで食ふアイスかな

これもまた一夜の命蚊遣の火

梅雨明けの小学校が乾くなり

掬ひたるアイスクリーム毛羽立ちぬ

山奥の清き流れの紅葉かな

早起にあれもこれもと夏休

ぼたぼたと暑さに滅氣し氷菓なり

山々のはつきり見ゆる空つ風

夜明けなり決死の蟬が穴を出づ

焼そばの人と相席搔き氷

汗かいてゐる鯛焼の哀れかな

日盛りの地下水を吸ふ木の根かな

捕虫網幼き兄を先頭に

埋火のありし空間純白す

アスファルトもコンクリートも日の盛り

土くれを穴から運び出す蟻も

2021.5.31【角川俳句賞2021 プランB 全574句】選50句

行3段組14部 2021年5月31日 10:12 ↑1 ↓桐9

春昼や糸の尾ながきティーバッグ

炎天をのらりくらりと松が伸び

蚊を殺し尽せし煙明易し

成田フライトインフォメーション地虫出づ

腐りつつものの融けゆく暑さかな

働いて働き蟻を全うす

菜の花や明日ある如く咲き続く

皺腹を搔つ捌きなば涼しかる

ほんまやなもの五分で蟻たかる

初夏のガードレールの緑色

時もまた滴一滴と滴るよ

蓮の花に自壊の兆なかりけり

すでに子ら汗をいとはぬ五月かな

抱きついて汗の笑顔をこすりつけ

向日葵にこれはボールのやうなもの

公園に木の椅子乾く薄暑かな

きゆつきゆつとシャワーはいつも全開に

地球儀と西日の部屋の全てかな

新妻の新緑の旅衣かな

籐椅子の母に抱かれし古写真

夕焼が地下へ沈んでゆくところ

新緑や白と黒なるチェスの駒

うすぐらき蚊帳の昼寝を好みけり

職業は寺山修司夜店の灯

新緑を虫が好めり鹿も食ふ

監獄を襲ひし日なり巴里祭

交番に夜の向日葵を論すなり

青空も見えて若葉の雨宿り

消毒や日焼の腕の脱脂綿

螢火や庭に埋めし宝物

梅雨空のグラデーションの濃きところ

弱虫も泣虫も来よ西瓜切る

命終のぼたりと落る蚊遣の蚊

横にして傘をバサバサ梅雨の日々

お多福型スプーンで食ふアイスかな

これもまた一夜の命蚊遣の火

梅雨明けの小学校が乾くなり

掬ひたるアイスクリーム毛羽立ちぬ

山奥の清き流れの紅葉かな

夜明けなり決死の蟬が穴を出づ

ぼたぼたの氷菓の棒は急ぐべし

山々のはつきり見ゆる空つ風

早起にあれもこれもと夏休

焼そばの人と相席掻き氷

汗かいてゐる鯛焼の哀れかな

日盛りの地下水を吸ふ草木の根

捕虫網幼き兄を先頭に

埋火のありし空間純白す

アスファルトもコンクリートも日の盛り

土くれを穴から運び出す蟻も

2021 字数俳句 句作の

2021年5月31日 角川俳句賞2021 プランB 全574句 選50句  
炎天をのらりくらりと松が伸び  
腐りつつものの融けゆく暑さかな  
皺腹を搔つ捌きなば涼しかる  
時もまた滴一滴と滴るよ  
抱きついて汗の笑顔をこすりつけ  
きゆつきゆつとシャワーはいつも全開に  
籐椅子の母に抱かれし古写真  
うすぐらき蚊帳の昼寝を好みけり  
監獄を襲ひし日なり巴里祭  
消毒や日焼の腕の脱脂綿  
弱虫も泣虫も来よ西瓜切る  
お多福型スプーンで食ふアイスかな  
掬ひたるアイスクリーム毛羽立ちぬ  
ぼたぼたの氷菓の棒は急ぐべし  
焼そばの人と相席掻き氷  
捕虫網幼き兄を先頭に  
土くれを穴から運び出す蟻も



## 2021.5.31【角川俳句賞2021 プランB 全581句】 選50句

行3段組14ポ 2021年5月31日 13:14 へ1 ✓ 桐9

春昼や糸の尾ながきティーバッグ

成田フライトインフォメーション地虫出づ

菜の花や明日ある如く咲き続く

初夏のガードレールの緑色

すでに子ら汗をいとはぬ五月かな

公園に木の椅子乾く薄暑かな

新妻の新緑の旅衣かな

新緑や白と黒なるチエスの駒

新緑を虫が好めり鹿も食ふ

青空も見えて若葉の雨宿り

梅雨空のグラデーシヨンの濃きところ

横にして傘をバサバサ梅雨の日々

梅雨明けの小学校が乾くなり

夜明けなり決死の蟬が穴を出づ

早起にあれもこれもと夏休

日盛りの地下水を吸ふ木の根かな

アスファルトもコンクリートも日の盛り

炎天をのらりくらりと松が伸び

腐りつつものの融けゆく暑さかな

皺腹を搔つ捌きなば涼しかる

時もまた滴一滴と滴るよ

抱きついて汗の笑顔をこすりつけ

きゅつきゅつとシャワーはいつも全開に

籐椅子の母に抱かれし古写真

うすぐらき蚊帳の昼寝を好みけり

監獄を襲ひし日なり巴里祭

消毒や日焼の腕の脱脂綿

弱虫も泣虫も来よ西瓜切る

お多福型スプーンで食ふアイスかな

掬ひたるアイスクリーム毛羽立ちぬ

ぼたぼたの氷菓の棒は急ぐべし

焼そばの人と相席掻き氷

捕虫網幼き兄を先頭に

土くれを穴から運び出す蟻も

蚊を殺し尽せし煙明易し

働いて働き蟻を全うす

ほんまやなもの五分で蟻たかる

蓮の花に自壊の兆なかりけり

向日葵にこれはバールのやうなもの

地球儀と西日の部屋の全てかな

夕焼が地下へ沈んでゆくとこ

職業は寺山修司夜店の灯

交番に夜の向日葵を論すなり

螢火や庭に埋めし宝物

命終のぼたりと落る蚊遣の蚊

これもまた一夜の命蚊遣の火

山奥の清き流れの紅葉かな

山々のはつきり見ゆる空つ風

汗かいてゐる鯛焼の哀れかな

埋火のありし空間純白す